村政を問う

一般質問に９人登壇

一般質問とは

定例議会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり村当局の考え方や疑問をただすことです。単に疑問を晴し事実関係を明かにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

髙田　清一 議員 13

1 村の基幹産業である農業政策は
2 区長・区長代理の報酬見直しを

松井　保夫 議員 14

1 移動販売車による生活用品の購入支援は
2 子ども達の安全対策は
3 住民説明会の実施を
4 ２年前の雪災害の教訓は

松岡　好雄 議員 15

1 上毛大橋延伸道路の早期実現は
2 農業の活性化は

小山　久利 議員 16

1 予算流用の説明を
2 誤徴収の隠蔽やいじめはあったのか
3 村内の鉄鋼スラグは

清水　健一 議員 17

1 子どもの貧困対策は
2 ひきこもり対策は
3 振り込め詐欺対策は

早坂　　通 議員 18

1「いじめ」の現状は
2 今後の対策は
3 議決権の侵害をしている

小野関武利 議員 19

1 区のコミセンに設置した太陽光パネルは
2 子育て・長寿支援課の廃止は

南　　千晴 議員 20

1 総合防災訓練の実施は
2 申請書のダウンロードで住民サービス向上を
3 行政施設の看板と案内版の設置を
4 定住促進事業とさらなる子育て支援を

松岡　　稔 議員 21

1 日銀マイナス金利政策に伴う影響は
2 中学校の部活動の現状は
3 自転車の損害賠償保険加入および通学中の子どもたちの安全対策は

※紙面の都合により、質問の内容を要約してあります。
会議録の詳細は、榛東村議会のホームページに掲載します。

３月１日開会初日

Q 当村の実情に合った農業政策を
A 28年度重点地区を設定し検討

髙田清一 議員

村の基幹産業である農業政策は

問　今、進めている農業政策は何ですか。

答　産業振興課長　本村の推奨品である下仁田ネギ等の生産を振興し、産地化に向けた取り組み強化とともに、農業の担い手として新規就農者や認定農業者に対して補助金を活用して支援を行います。

問　耕作放棄地対策は何ですか。

産業振興課長　農業機械利用組合への機械貸し出しや、農地所有者に農地の保全管理を促しています。

問　上野幹線の県道化を前提にふるさと公園を中継場所に、観光農園とか体験農業などの考えはありますか。

答　村長　上野幹線の県道化は吉岡町とも調整中です。上毛大橋からの延伸道の問題も含め、全体的に捉えて、観光客などを呼び込めるような施策を考えていきます。

問　近郊各市に募集を出して、分割貸出しの考えはありませんか。

答　村長　榛東の場合傾斜地であるため集積する事が難しい状況であり、勤め人が休日を利用した、市民農園的なことを考えていかなければならないと考えています。

問　現在、田畑の耕作者がいなくて、頼みたくても、どこに、どう頼めばよいのかわかりません。請負農業者的対策を村で考えていますか。

答　産業振興課長　本村における農作業受託は、ほとんどが個人受託です。今後JAの方や担い手の皆さん等、関係者と連携して検討します。

問　村及び字単位で組織化をして、そこに申し込みができる体制をとることはできませんか。

活かそう榛東の豊かな大地

答　産業振興課長　個人の経営体系等を考えますと難しいところがありますが、これも関係者と連携し検討していきます。

問　この対策を立てることは働ける人の雇用確保、耕作依頼したい人の救済、しいては耕作放棄地対策につながります。本気で取り組んでください。

答　村長　組織化できれば一番いいことです。それを村主導でやれるか一生懸命努力します。前向きな検討をさせてください。

問　中間管理機構も仕組として実現できれば対策になると思うのですが、当村の狭く傾斜の多い耕地では、なかなか合わないと思います。そんな中、行政としてどう対処していく考えですか。

答　村長　本当に難しい点もありますが約束します。28年度重点地区を設定します。どこにするかの想定はありませんが重点地区で実習をして28年度検討をします。

問　農業用免税軽油がもっと活用できるよう行政で代行支援はできませんか。

答　村長　確かに書類も多すぎます。県に改正するよう働きかけていきます。

区長・区長代理の報酬見直しを

問　区長業務は条例指定業務以上に負担が大きく見直しすべきではないですか。

答　総務課長　大変ご苦労をいただいています。地域の実情を精査し検討していきます。

Q 防犯カメラの設置状況は
A 村で35基、渋川警察署で５基予定

裕井保夫 議員

子ども達の安全対策は

問 防犯カメラ等の設置状況はどうなっていまか。

答 総務課長　防犯カメラは、27年度末までに35基、渋川警察生活安全課からの5基を含め、40基を予定しています。防犯灯の新設は少ないですが、区長等の要望により設置しています。

問 防犯意識をさらに高めるために、村に入る各幹線道路に「防犯カメラ設置」等の看板をつけたらどうですか。

答 総務課長　村道と県道があり、色々調整が必要ですが、抑止という観点から非常に良いと思いますので、今後検討します。

問 雨の日に黄色い傘をささない小学生を見ます。安全管理上問題ありませんか。

答 教育長　新1年生については、交通安全協会から黄色い傘が配られていますが、高学年になりますと小さくなったり壊れたりして使ってないのが実情です。

問 南小は、PTAが負担して2本の傘、北小は1本の傘とおかしいと思います。村が負担をし、2本にして1本は学校に、1本は家に置ける態勢をとれませんか。

答 教育長　保護者の負担という面で不公平になりますのでこの点は検討します。

2年前の雪災害の教訓は

問 1月18日未明と20日に雪が降りましたが、2年前の教訓は生かされたと思いますか。

答 総務課長　情報収集、指揮命令系統、そして早期態勢の構築等実施しました。大雪警報後は対策本部を設置し、関係機関と調整等をしました。

問 歩道の除雪、日陰の解けない雪の処置、塩化カルシウムを撒く場所、村民協力の除雪能力等、生かされていなかったように思いますが、いかがですか。

答 総務課長　建設業協力会及び教育委員会を含めた反省会を計画していますので、これをベースに今後の雪害等の対策を講じたいと思います。

1週間たっても歩道と日陰の除雪はまだまだ

移動販売車による生活用品の購入支援は

問 高齢者の方、1人暮らしの方、障害をお持ちの方等で車を運転されない方々に対する生活用品等の購入支援はどうなっていますか。

答 子育て・長寿支援課長　「しんとう便利屋電話帳」の中には、宅配をする小売店もありますし、20区では吉岡町と接しており、吉岡町の小売店が週に1回、移動販売車で販売している情報を入手しています。

問 住民目線に立ち、村で補助金を出してでも移動販売車に来てもらうような考えはありますか。

答 村長　PRとか確かに不足している面があります。村の商工会や小売業等の皆様に、今後PRして行きたいと思います。

住民説明会の実施を

問 大きな政策の転換、大きな事案に対する村民への説明は、住民説明会が絶対必要だと思いますが、いかがですか。

答 村長　これまで実際はなされていなかったのが現状であり、今後どの場面でどういう人と、どの地区でなど検討しながら実施します。

Q 上毛大橋延伸道は平成29年までに
A 平成32年より前に整備

松岡好雄
議員

上毛大橋延伸道路の早期実現は

問 延伸道路沿線の発展を期待し、吉岡バイパス沿線の大型店等の新設状況と村役場までの整備の時期など、どのようになっていますか。

答 建設課長　吉岡バイパスの吉岡分は約3キロ、大型店等の進出も多く、地域周辺の活性化や雇用等経済効果も高くなっており、高渋バイパスはアクセス道の整備で効果が高まると期待されます。役場までの時期は未定です。

問 延伸道の線引きは具体的に中学校裏か、清水貝戸を通るのか、いつ頃完成するのですか。

答 村長　延伸道は県道で、できます。2月に県道でやると返事がありました。平成32年に完成と県からは聞いていますが、納得していません。完成時期を1日でも早くという考えからです。

上毛大橋延伸道路ここまで

農業の活性化は

問 ふるさと納税のお礼品である27年産米こしひかりが30kg袋が、千袋残っていると説明を受けましたが原因はなんですか。

答 産業振興課長　検証のないまま受け入れを行ったこと、米を返礼品として扱う自治体が増え、希望者が減少したのが原因と思います。

問 返礼品の米も防災倉庫に入れ、コンクリートの上にシートを敷いただけで保管していたので「農家が作ったうまい米をそんな扱いではダメ」と注意をしました。米はどうしたらお礼品としてとり扱ってもらえますか。

答 産業振興課長　ふるさと納税の希望者の選択肢の幅が広がったと考え、来年度以降は、受け入れ数を村の方で調整させてもらいます。

問 1月の農業委員会の新年会で村長がふるさと納税返礼品の米が残っているので、農業委員さんに割当で購入をお願いしたいと言っていました。この発言は控えるべきだったと考えますが、どうですか。

答 村長　村は米屋じゃないし、ネーミングでなく食味でリピーターが出てくるのではと思っています。640袋が残ってしまい、古米になったり、捨てることになるなら困るということは言ったと思います。

問 村のブランド米の倉庫の契約破棄、100%の交付金で買える精米機も購入せず、こんなことをしていたら米のブランド化が失敗すると思います。また、米の倉庫は、ふるさと公園内の直売所がよいと提案します。村長どうですか。

答 村長　直売所は補助金で作った経緯があり、転用はどうかと思います。ブランド米については「雪ほたか」は川場で何十年もかけて作った本当にうまい米だと思います。精米機の購入については1500万円の精米機を買わなくとも精米は30kgが300円でできると思っています。

問 除雪のため村でもタイヤシャベルを購入したり、防災マップ作りで歩道の除雪希望が多かったので、大字に1台づつ歩道用除雪機を貸与したらどうですか。

答 村長　村でやった方がいいか、業界がやった方がいいのか相談しようと思います。

Q 議決なしの予算執行は正しいのか
A 違法性はないと認識

小山久利
議　員

予算流用の説明を

問　**予算の流用と予算補正の件について、議決なしの予算執行は違法との議論がいまだに続いていますが、詳しい内容はどうなっていますか。**

答　**基地・財政課長**　交付金関連の予算ですが、真塩村長から事業見直しの指示があり、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援策として不妊・不育治療費助成、任意予防接種費の助成、通学路の見守りを強化する等、村の人口減少対策を重視した事業への振り替えを行ったものです。事業変更については、内閣府に承認をいただき、予算の一部について流用し、新規事業に着手したところです。同一の款、項、目内における流用で違法性はないと認識しています。

誤徴収の隠蔽やいじめはあったのか

問　**給食費の誤徴収の関係ですが、給食センター所長の異動は、この誤徴収を隠蔽するための異動とかいじめと言われている方もいますが、誤徴収が発見された経緯、調査結果についてお伺い致します。**

答　**学校教育課長**　26年度の決算審査が行われまして、給食センター所長と同席をさせていただきました。所長からは監査委員へ、所長作成の書類が提出され、給食管理システムの徴収内容と財務会計が合っていない、第3子無料化については、村長等の給与の3割カットを財源としているので繰り入れをすることができないといった説明がありました。本来であれば、決算審査でありますので、事前に徴収や未納者の把握を行い、間違いがあるのであれば精査し、正してから決算審査に臨むべきですが、監査により指摘を受けたものです。誤徴収については、昨年の12月に保護者宅を訪問し、謝罪をさせていただき、ご了承を得たところです。

教育長　27年6月1日の異動によって学校給食センターの所長になり、9月頃、給食センターの事務室で部外者が仕事しているという情報があり、調査を行いました。その結果、部外者が給食センターの事務室で、書類の整理やパソコンの処理を行っていたことが判明しました。

村内の鉄鋼スラグは

問　**ソフトバンク榛東ソーラーパークの敷地に佐藤建設工業から搬入された砕石をSBエナジーから確認を求められた大同特殊鋼が検査をしたところ、環境基準の数倍のフッ素が検出されたと報じられました。調査結果はどうなっていますか。**

答　**村長**　これについても大同特殊鋼が全て認めるということであり、相当な数量が入っているようです。その後、調査を実施させてもらい、大同特殊鋼とはどうにするか協議し対応するところまで進んでいます。

環境基準以上のフッ素が検出された村の造成地

Q ひきこもり対策は
A ひきこもりサポーターを養成する

清水健一 議員

子どもの貧困対策は

問 **就学援助費の支給者は何人いますか。**

答 **教育長**　要保護家庭は、26年度小学校1人、中学校1人の2人です。準要保護家庭は、小中学校合わせて26年度が82人、6.3％、27年度、今年度につきましては76人、6.0％という状況です。

問 **学習支援の取り組みで大事なことはなんですか。**

答 **教育長**　教育委員会としていろんな支援があると思います。大事なことは、学校という場を貧困対策のプラットフォームにして、総合的に対策を講じていかなければと考えます。

1点目は、学校教育において学力の保証をしてあげることです。2点目は、学校と福祉機関との連携が必要であるということです。3点目は、経済的な支援を通じて子どもの福祉的支援に総合的に対策をしていくことです。4点目は、教育の負担軽減の措置です。

ひきこもり対策は

問 **ひきこもりの実態をどのように把握していますか。**

答 **子育て・長寿支援課長**　村及び社会福祉協議会で対応している生活困窮の相談などから、ひきこもりの定義に当てはまる例が表面化したこともありますが、家族が世間体を気にして第三者に相談しない、話さないことが多く、当事者の把握は難しいと思います。

問 **どのように対策をとっていきますか。**

答 **子育て・長寿支援課長**　現在策定中の第6次総合計画において生涯学習推進の諸施策に青少年健全育成を加え、青少年の非行防止やひきこもり対策などを盛り込む予定です。

ひきこもりサポーターの養成とあわせてサポーターの派遣先となる村内のひきこもり者を把握することが求められます。関係機関とともに、この難しい把握方法などについて研究していきます。

振り込め詐欺対策は

問 **振り込め詐欺の対策をどのようにとっていますか。**

答 **子育て・長寿支援課長**　群馬県の消費者行政活性化補助金を活用しています。消費者が被害に遭わぬよう注意喚起を促した広報つづりを全戸配布、民生委員のみなさんに啓発資材となる使い捨てカイロの配布をお願いしたり、啓発資材を活用した注意喚起に取り組んでいます。

Q いじめを放置しない
A 居心地の良い学校を作る

早坂　通
議　員

「いじめ」の現状は

問　私は、中学生の時、いじめに遭った経験があります。いじめられている女子生徒をかばった結果、「ええ恰好しやがって」と二人のクラスメイトに付きまとわれました。

そこで教育長にお聞きします。学校でのいじめの現状はどうなっていますか。

答　教育長　27年度は重大な案件が1件、学校側で、いじめと認知した案件が5件ありました。1件については、ある児童が友達に「●●」「●●」など言われ、自宅に引きこもることが多くなりました。しかし、根気強いスクールカウンセラーや管理職の支援があり、修学旅行を契機に登校できるようになりました。

今後の対策は

問　いじめが起こらないようにするための今後の対策は、どのように考えていますか。

答　教育長　早期発見が重要と思います。そのために全教職員による細かな観察をするように努力しています。さらに、見て見ぬふりをしている傍観者をなくし、思いやりのある集団を作っていくことが大事だと考えています。

問　私がいじめを経験したのは50年前です。私に対して男子生徒も女子生徒も多くの者が何もできなくて悪いなという顔をしていました。とりわけ女子生徒は気を使って、よく声をかけてくれました。しかし、いじめを行っている二人に注意をすることはできなかったのです。

いじめ防止対策推進法3条2項には「全ての児童等がいじめを行わず、及び他の児童等に対して行われるいじめを認識しながらこれを放置することがないようにする―中略―児童等の理解を深める」と書かれています。教育の現場では卑劣な行為を見て、それを黙認、放置することは絶対にあってはならないと思います。地域社会においても同じです。要するに大人が規範を示すということだと思いますが。教育長はどう思いますか。

答　教育長　友達と友達、人と人の信頼関係をつくり、いつでも相談できる居心地のいい学校を作ることが必要と考えます。

居心地のいい学校へ

議会軽視・議決権の侵害をしている

問　1年分の予算を専決処分したこと、また議会議決をせずに繰越明許費を流用し、予算執行までしたことは議会軽視、議決権の侵害で、さらに違法行為です。たとえば、専決処分について総計予算主義にのっとり1年分の専決処分を行ったと言っていますが、地方自治法210条の総計予算主義の条文は「一会計年度（4月1日から翌年3月31日）における一切の収入及び支出は全てこれを歳入歳出に編入しなければならない」と書かれています。総計予算主義が当てはまるのは1会計年度の予算についてなのです。専決処分に当てはまるはずはありません。村長の考えはどうですか。

答　村長　210条は、これそのものではないですか。年間を通じてやることが総計予算主義ではないですか。

Q 子育て・長寿支援課廃止の理由は
A 他の課と重複する業務が多いため

小野関武利 議員

区のコミセンに設置した太陽光パネルは

問 設置の進捗状況はどうなっていますか。

答 総務課長　26年度10カ所、27年度10カ所で実質的に工事は完了しています。

問 全区に太陽光パネルを乗せると総額はいくらですか。

答 総務課長　27年度は1998万円の契約。26年度は、設計額を3社の競合で2642万円。その差713万円になります。

問 26年度を踏まえ、27年度パネルを見直しましたが、再発防止策を考えていますか。

答 村長　住民監査請求の監査の審査結果を待ちます。東電の許可は27年度に誰がとるかわからないのに、26年度の業者が27年度分の許可までもらっていることを含め、内容を精査します。

問 東電の部分、両年度にわたっての工事で、一括でよいのではと思います。「最高級のパネルは必要ない」とはどういうことですか。

答 総務課長　26年度のパネルは単※結晶で発電効率が高く単価が高いものです。27年度はコンサルから一般的に集会施設は安い多※結晶で十分足りるとの提案がありましたが、前年と同様、防災拠点としての機能を考慮し、単結晶を設置しました。

※単結晶…高純度のシリコンでパワーを最大限生かすことができる。見た目がきれいだが、コストが高い。
※多結晶…発電量が単結晶に比べ多少劣る。見た目はきれいでないが、コストがかからず大量生産できる。

13区コミセンの9枚のパネルとメーカー名

子育て・長寿支援課の廃止は

問 先の臨時議会で課の廃止に賛成してしまった事を今、反省しています。廃止した理由は何ですか。

答 村長　子育て・長寿支援課の業務は住民生活課や教育委員会に協議しなければ完結できないところが相当です。今後3年間に10名の管理職員が定年になることを含め、検討し提案しました。

問 他の課が所掌するのが妥当な業務がありますか。

答 子育て・長寿支援課長　高齢者福祉は介護保険と密接な関係、障害福祉も健康保険課と一元化で業務の円滑化は増します。児童福祉は転出入、住民登録など住民生活課に一元化で、申請者の利便性が向上します。

問 子育て・高齢者支援で強化する事業、新たな取り組みがありますか。

答 村長　「子どもに夢をみんなに福祉と安心を」を掲げています。

基地・財政課長　健康増進、健康寿命延伸策の拡充、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を予算化しています。

問 世界文化遺産の絹に関して、県の蚕糸園芸課継承、富岡市の蚕糸園芸係新設のように、看板は社会へのメッセージです。子育て・長寿支援課の看板を下ろす事に悔いは残りませんか。

答 村長　今後については検証しますが、正しくやれるということで提案しています。

Q 住民参加の防災訓練を
A 他を参考に実施したい

南　千晴 議員

指摘のように全部が網羅されていません。可能な限り早い時期に改善したいと思います。

問 大井町では住民票などの申請ができる休日夜間申請ボックスがあります。村民が利用しやすいように村も住民サービスを考えていただけないですか。

答 村長　村の遅れも感じています。先進地を見ながら、良いものは取り入れて一生懸命やりたいと思います。

総合防災訓練の実施は

問 村の地域防災計画には、総合防災訓練や図上訓練などの防災訓練の実施が書かれています。しかし、行われたことがありません。実施すべきではないですか。

答 村長　職員の参集訓練等は行っています。今後は、警察、自衛隊、社会福祉協議会などと連携して、実施に向けてなるべく早くできるようにします。

申請書のダウンロードで住民サービス向上を

問 行政手続きには、さまざまな申請書の提出が必要です。村で申請をする場合、事前にダウンロードできるものはありますか。

答 総務課長　戸籍などの委任状様式や介護保険の各種申請書様式がダウンロードできます。しかし、

公共施設の看板と案内版の設置を

問 南部コミニティセンターは、看板もなく、とてもわかりづらいです。他の村の公共施設にも、きちんと看板が設置されていますか。

答 生涯学習課長　南部コミセンや周辺施設も県道に看板は設置されていません。グラウンドや耳飾り館はありますが、見づらい状況です。

問 村の公共施設の看板をわかりやすいように、主要な道路に設置すべきではないですか。

答 村長　早く設置をしなければならないと担当に指示をしました。本当に必要だと考えています。

問 施設内がわかる案内板も必要です。外国語や点字の表示を含めて考えていただけないですか。

答 村長　アリーナ周辺には多くの施設があります。案内板を作るべく、いま県の方にお願いしています。

総務課長　外国語のできる人の配置は難しく、庁舎内の看板も、そのようなものを取り入れていきたいと思います。

定住促進事業とさらなる子育て支援を

問 村が計画している移住・創業・起業促進事業は県外の方が対象です。県外に限らず、若い世代を対象に、空き家の改修費や引っ越し代の補助などの定住促進事業は行わないのですか。

答 基地・財政課長　県内、県外を問わず転入者が増える施策を講じていく必要があります。

問 定住者向けの施策はもちろん、これからも「子どもを産み育てるなら榛東村」を進めていくことが大切ではないですか。

答 村長　これからも結婚、出産、子育て、教育の充実を図っていきます。

これからも子どもを産み育てやすい村に
（ママと３カ月健診）

Q マイナス金利による基金への影響は
A 安心、安全な定期預金で運用する

松岡　稔
議員

日銀マイナス金利政策に伴う影響は

問 **平成26年度末で約53億円の基金があります。定期預金や国債はどのくらいですか。**

答 **会計課長**　平成27年度末の基金の合計は、3月補正後は51億円です。現在管理している基金は15本ありますが、定期預金のみで国債等の運用はありません。

　これまで預けている定期預金については、従来どおりの金利がつきますが、これから預ける分については低金利が適用されると思われます。

問 **現在預けている定期預金の利率が引き下げになった場合、どのくらいの影響を受けますか。**

答 **会計課長**　どのくらいの影響が出るかは計算していません。

問 **今後の基金の運用はどう考えていますか。**

答 **村長**　元本割れをしないこと、運用についてはリスクを伴うことはできないと考えています。引き続き安定している定期預金を考えています。

中学校の部活動の現状は

問 **中学校の部活動の実施時間、授業後、土日、祝日などの部活動の参加状況はどのようになっていますか。**

答 **教育長**　中学校の部活動は原則希望制であります。中学校では95％の生徒が加入しています。それ以外の生徒は校外のクラブチームがあり、そこでも活動をしています。中学校では421人が在籍し、運動部が74％、吹奏楽部が13％、美術部が2％、国際文化部が3％の比率であります。

　練習時間は、3月から10月まで、一応午後6時までですが、延長があります。

　午後7時には完全に下校している状況であります。

　冬時間は、11月から2月まで、延長を含め午後6時15分までには終え、顧問が全員帰るまで見届けをしている状況です。

問 **授業への影響や健康管理等で、影響がある場合の対策は、どのようになっていますか。**

答 **教育長**　学習面の影響は、平日練習し、家に帰って食事、それから学習になると、確かに負担になると思われます。月曜日等の様子で子どもたちが健康被害と言いますか、中には、土曜日曜も練習していると、月曜日は体がだるいと想像できます。

　しかし学校では朝の健康観察はきちんとしております。具合の悪い子どもがいれば、保健室で養護教諭に見てもらう等、子どもたちの健康状態は、常に観察をしています。

自転車の損害賠償保険加入と通学中の子どもたちの安全対策は

問 **ほとんどの子どもたちが自転車通学をしています。自転車の損害賠償保険加入や、自転車の点検を実施していますか。**

答 **教育長**　中学校では2年前から希望制による自転車通学と、不審者対応として始めました。本年度は421人中400人の生徒が申請を出しています。村内には坂道があり、スピードも出ると思います。自転車も加害者になる時代で学校では、年度初めのPTA総会等で保険に加入するよう保護者に呼びかけています。点検は4月に、専門の業者を招いて自転車の点検を行っています。

通学や部活動に使っている自転車